

[サータヴァーハナ朝とクシャーナ朝]

前2世紀…マウリヤ朝滅亡後、インドは分裂期になる。

前1世紀…インド南部にドラヴィダ系民族がサータヴァーハナ朝を建てる。

後1世紀…インド北部にイラン系民族がクシャーナ朝を建てる。

サータヴァーハナ朝 都：プラティシュターナ

前1世紀…インド南部のデカン高原で台頭していく。

- ・アーリア文化を取り入れる。

後1世紀～…ローマ帝国と海上の季節風貿易を盛んに行う。

⇒後3世紀ごろ…国内の諸侯たちの自立で滅亡

クシャーナ朝 都：プルシャプラ

1世紀…イラン系のクシャーナ族が王朝を建てる。

→2世紀…3代カニシカ王のときに全盛期

- ・クシャーナ朝の最大領土を現出。
- ・第4回仏典結集を行う。
- ・ヘレニズム世界の影響を持つガンダーラ美術が栄える。

→大乘仏教が広まり、竜樹(ナーガールジュナ)が理論を大成。

⇒3世紀…ササン朝の圧迫でクシャーナ朝は滅亡。

